



平成18年(2006年)

1/1
第1092号

発行：小平市
編集：都市経営部
秘書広報課
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(341)
1211(代表)

市報

こだいら



平櫛田中作「新春」

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.tokyo.jp ◇こだいらテレホンガイド ☎042(342)1222



おもちつき(花小金井南児童館)

一年の計は元旦にあり。「今年こそ」と目標を持って新年を迎えられたことと存じます。私も市長になって初めての新年を、例年になく強い決意を持って迎えました。

既成概念や前例にとらわれることなく、変化に柔軟に対応し、進歩し続ける小平市を目指す一年にしたいと思います。

しかし、私一人がいくら力んでみても、市民の皆様のご支援とご協力がなければ達成できません。そこで、ご意見やご提言をいただく機会をできるだけ多くつくってまいりますので、前向きな取り組みをお願い申し上げます。

さて、小平市の人口は18万人を突破し、押しも押されぬ多摩地域の中核的な役割を担わなければならない立場になりました。

加えて、他市との連携も図りながら進める、広域的な行政運営が求められています。

従来、堅実で手堅き重視の市政から抜け出し、積極的な外交行政も展開したいと考えております。

小平グリーンロードに齋藤素蔵のフロンティア像の展示、グループホームでショートステイが行える特区の申請、駅伝大会の復活など、

昨年、宇宙飛行士野口聡一さんが日本人として、初めて国際宇宙ステーションで船外活動を行いました。また、サッカーワールドカップでは、日本代表チームが3大会連続で今年ドイツで行われる本大会への出場を決め、国民に夢と大きな感動を与えてくれました。何としても悲願の優勝カップを持ち帰っていただきたいと願っております。

本年は、現行の小平市新

長期総合計画が終了し、新たに平成18年度からの小平市第三次長期総合計画がスタートする節目の年となります。市議会といたしましても、「躍動をかたちに進化するまち こだいら」の実現を目指し、緑と住みやすさを大切に、さらに自立し活力のあるまちをつくるため、力を尽くしてまいります。

また、本年は三位一体改革の仕上げの年でもあります。依然として厳しい経済状況の中にあって、さまざま

また、今後の市政のキーポイントは地域の資源を生かすことです。企業や市民団体、あるいはNPOなどの法人、そして地域で暮らしている市民の皆様のご経験や能力を生かすことです。とにかくやってみようの思いで全力で頑張ります。

平成18年は、小平市の15年先を見越した長期総合計画がスタートします。15年後の人口19万2千人を想定し、力強く一歩を踏み出す一年にしたいと思います。

皆様にとりましても夢多き一年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

終わりに、平成18年が市民の皆様にとりまして最良の年となることを心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

また、市立小学校の児童1千72人が社会科見学の一環として議場を訪れましたが、市議会としてはぜひとも多くの方に傍聴においていただきたいと思います。

また、市議会として、

また、市議会として、

また、市議会として、

また、市議会として、

また、市議会として、

年頭にあたって



小平市議会議長
石塚 信治



小平市長
小林 正則